

問 ダムの撤去を

答 考えられない

中山

伊方原発が安全として再稼働されるなら電気供給の心配は無くなり、四万十川の各ダムは不要になる。ダムの撤去を求めるべきではないか。

池田町長

今のダムは多目的ダムで、発電だけでなく利水、洪水調整の機能もある。撤去は考えられない。

問 特定健診の充実を

答 受診率アップに努める

中山

町民が健康を維持することとは、国保・介護・人口減等に大きなメリットがある。受診率アップのための取り組みを聞く。

池田町長

生活習慣病を予防するための健診で、今年までの受診率は県平均が33%に対し約53%と高い方である。今後は商工会や企業の協力等、多方面からの対応を検討していく。

問 空き家情報の公開は

答 始めている

中山

町内の空き家調査の情報開示の時期と今後の更新への取り組みは。

岡崎企画調整課長

昨年の調査で、貸す意思のある15軒の台帳を整備している。本年度も5軒の可能物件があるが、修繕の必要もあり今後の支援のあり方を検討する。
空き家情報の公開は、家主の同意が得られた物件から行っている。

問 抑制の解除を
答 促進を求める

中山

四国電力が新エネルギーに対して抑制をかけることは、知事や町長が進めようとしている自然エネルギーへの転換を否定する行為である。抑制の解除に取り組むべきではないか。

池田町長

再生可能エネルギーの促進はしなければならぬ。そのために送電網の整備や蓄電池の導入促進を国に強く訴え、共に、県・各自自治体と協力して四国電力に促進を求めていく。



総合健診（西庁福祉交流センター）